

横手市議会定例会  
市長所信説明

令和6年12月

(令和6年11月15日 告示)

横手市

## 第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が<sup>ひら</sup> <sup>かがや</sup> 燦くまち よこて

### 後期基本計画 政策・施策

**政策1** 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます  
【健康福祉】

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 【施策 1-1】 子育て支援の充実          | 【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実   |
| 【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進      | 【施策 1-5】 低所得者福祉の充実      |
| 【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進 | 【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成 |

**政策2** 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます  
【教育文化】

- |                                 |                            |
|---------------------------------|----------------------------|
| 【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 |
| 【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備      | 【施策 2-4】 心を豊かにする生涯学習の推進    |
|                                 | 【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見   |

**政策3** 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます  
【生活環境】

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| 【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 | 【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進 |
| 【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全    | 【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進   |
|                                | 【施策 3-5】 地球温暖化対策の推進    |

**政策4** 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります  
【産業振興】

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興 | 【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信     |
| 【施策 4-2】 活気ある商業の振興  | 【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 |
| 【施策 4-3】 活力ある工業の振興  |                            |

**政策5** 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます  
【建設交通】

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現     | 【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 |
| 【施策 5-2】 快適な移動空間の実現       | 【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備         |
| 【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実 |                                  |
| 【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化 |                                  |

**政策6** やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます  
【市民協働】

- |                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 | 【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備 |
| 【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり           | 【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進 |

**政策7** 横手を思い、市民の思いを実現させる創造的な行政経営を進めます  
【行政経営】

- |                                 |
|---------------------------------|
| 【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進 |
| 【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進   |
| 【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実   |

## 目 次

1. はじめに .....	1
<b>2. 令和6年度事業等の進捗状況について.....</b>	<b>4</b>
(1) 第3次横手市総合計画の策定について.....	4
(2) 農業振興について .....	5
(3) 雪対策について .....	8
(4) 横手市生涯学習館A o - n a について .....	9
(5) 横手駅周辺整備について.....	10
(6) 大型公共施設整備事業について.....	10
(7) 公共温泉施設について.....	12
<b>3. 新たな施策等への取り組みについて .....</b>	<b>14</b>
(1) 令和7年度予算編成方針について.....	14
(2) 自然災害への対応状況について.....	15
<b>4. 補正予算について .....</b>	<b>16</b>
<b>5. おわりに .....</b>	<b>17</b>
<b>※行政一般報告編.....</b>	<b>18</b>

令和6年12月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 1. はじめに

本年秋も、台風や秋雨前線の影響により全国各地で記録的大雨による被害が発生いたしました。9月21日から23日にかけて石川県の能登半島において、10月21日から22日にかけては、宮崎県の延岡市等において豪雨災害が発生しております。両豪雨災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様へお見舞い申し上げます。

どちらの地域も本年地震災害に見舞われており、特に被害が大きかった石川県能登地方では、復興に向け歩みを進めていた矢先、このような災害が再び発生したことにお見舞い申し上げますとともに、被災地の方々が一日も早く平穏な日常生活に戻られることを心より願っております。

市の災害対応におきましては、地震と大雪、大雨などの複数の災害が同時多発的に起こり得ることも想定し、これまで各種訓練等に取り組んでまいりました。

市といたしましても、今後も市民の皆様の安全・安心を確保するため、あらゆる災害を想定し、平時からしっかりとした準備を続けてまいります。市民の皆様におかれましても、災害に備え家庭での備蓄を心がけていただくようお願いいたします。

さて、この夏の大雨を受け心配しておりました当市の農作物に関して、農家の皆様のご尽力により、コメの作柄は「やや良」となっております。本年のコメの概算金が大幅に増額されましたが、肥料など資材高騰の影響が続いておりますので、引き続き関係機関と連携しながら、農業所得の向上に向けた対策を講じてまいります。

先般、民間調査会社が発表した47都道府県の「地域ブランド調査2024」において、秋田県の順位が昨年の27位から18位に上昇いたしました。本調査は、各地域に対しての魅力度を計る指標として、情報接触機会や地域コンテンツの認知度、観光意欲、製品の購買意欲など全90項目について、全国の消費者を対象に調査を実施したものであります。当市でも、これまで出前かまくらなど首都圏や関西圏でのイベントによる情報の発信などに取り組んできており、先日は県知事とともにタイ王国を訪問し、農畜製品の輸出や観光誘客に向けたトップセールスを実施してまいりました。引き続き積極的に横手の魅力発信に努めてまいります。

そして、この度横手の魅力発信を大きく後押しするものとなり得

る、こうじ菌を使った日本の伝統的酒造りがユネスコの無形文化遺産に登録される見通しとなりました。酒どころ秋田において、当市では5軒の酒蔵がこだわりの酒造りを行っており、秋田の日本酒を築いてきた「山内杜氏」の故郷で酒造りの伝統の技が引き継がれております。

登録が正式に決まった場合、日本酒はもちろん、こうじ菌を使って作られる漬物や味噌など発酵食品全体への注目度が高まることが期待されます。発酵のまちづくりを牽引してきた当市としては、この機を逃さず、「発酵のまち横手」として豊かなこうじ文化が栄えた当市の発酵食の魅力をさらにアピールしてまいりたいと考えております。

さらに、本年9月には、横手市生涯学習館<sup>あ お ー な</sup> A o - n a 並びに当市の農業と商業の中核を担う団体がそれぞれ入居する複合ビルが、横手駅東口にオープンいたしました。横手駅東口第二地区市街地再開発事業により整備された施設の相乗効果により、横手駅周辺では新たな人の流れが生み出されており、当市の魅力を押し上げるものと確信しております。今後も当市の魅力創出のための歩みを止めることなく進めてまいります。

## 2. 令和6年度事業等の進捗状況について

### (1) 第3次横手市総合計画の策定について

市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針として、市の将来像とその実現のため、どのような取り組みを行っていくのかを体系的に示した市の最上位計画である横手市総合計画は、現行の第2次計画が令和7年度をもって満了となります。

このため、令和8年度を初年度とする新たな総合計画の策定に向けて、ワークショップの開催や策定委員の公募などにより、広く市民の皆様に参加いただきながら策定作業を進めております。

ワークショップでは、「横手市の魅力や課題」、「10年後の横手市のありたい姿とその理由」、「ありたい姿となるために横手市ができること、市民ができること」について意見交換し、参加された高校生や市民の皆様から多くの意見をいただきました。

現在は、公募委員や関係団体、市の課長級職員で構成する「総合計画策定委員会」や、市の係長級職員で構成する「総合計画庁内策定部会」において、現状や課題の整理、基本目標や政策などの検討を進めております。また、附属機関である横手市総合計画審議会では、有識者と市民委員あわせて18名を委嘱し、まちづくりアンケートや若者意識調査の結果、これまでの施策の内部評価などを基に、第2次総合計画の総括評価を行っていただいております。

このほか、より多くの方に新たな総合計画の策定へ参画いただく取り組みとして、写真コンクールを実施したほか、次期総合計画の終期となる10年後をテーマとした絵画や川柳のコンクールを実施いたしました。

市を取り巻く状況は、人口減少と少子高齢化の急速な進行によって大きく変化しております。新たな総合計画は、今後10年間の当市の指針として、多様化・複雑化するまちづくりの課題に迅速かつ的確に対応できる計画となるよう、引き続き市民の皆様のご協力を得ながら検討を進めてまいります。

なお、総合計画中、まちづくりの指針となる将来像と基本目標を定めた基本構想部分につきましては、今後、議員の皆様へ素案をお示ししてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

## **(2) 農業振興について**

農林水産省が公表した10月25日現在の県南のコメの作況指数は「103」の「やや良」となっております。

また、JA秋田ふるさと管内の一等米比率は90パーセントをやや下回っており、猛暑による品質低下の影響は少ないものの、カメムシ被害が多く確認されております。

J A全農あきたが発表した、本年のあきたこまち60キログラム当たりの概算金は、7月に発生した県内の記録的な大雨被害による収量低下や肥料、燃料等の高騰による生産コストの上昇などに配慮し、昨年から6,700円引き上げられ18,800円となりました。概算金が大幅に引き上げられたことは、所得の確保のみならず、厳しい経営環境にある農業者の皆様が生産意欲の向上にもつながるものと受け止めております。

その一方、今後も人口減少等に伴い米の需要量の減少は続くものと認識しておりますので、市農業再生協議会において、J Aをはじめとする集出荷業者による事前契約の推進など、需要に応じた米の生産が進められるよう、取り組んでまいります。

次に、野菜や花きなどの園芸作物では、7月の大雨による圃場の浸水などの被害により、出荷量が大きく減少した品目もありました。主力品目のスイカでは、出荷できない果実が多数発生したため、出荷量は昨年に比べ大きく減少しました。一方で、食味の良さにも支えられ、昨年度を上回る高単価となり、総販売額は約11億円となっております。

枝豆やきゅうりについては、出荷数量は昨年度を下回ったものの、単価が昨年度を大きく上回ったことから、販売額についても昨年度を上回る見込みとなりました。

花きは、彼岸向けの露地菊で、開花初期の大雨やその後の高温も影響して立ち枯れが発生し出荷量が減少したほか、他の品目でも一部で大雨や高温の影響を受けたと伺っております。

果樹におきましては、ぶどうは7月中旬以降の長雨が大きく影響し、品種間で差があるものの、実割れや病害果の発生が多く減収となりました。一方で販売単価は堅調に推移しており、ナイアガラは北海道市場を中心に今年度も高値販売となっております。

りんごにつきましては、<sup>わせ</sup>早生種の「つがる」は心配された猛暑による日焼けもなく、肥大も良好で順調な仕上がりとなったほか、<sup>ばんせい</sup>晩生種の主力品種「ふじ」も大玉傾向で、集荷量は昨年を上回る見込みであり、今後の販売額の増加を期待しております。

J Aでは「銀世界」ブランドをデビューさせて本年で3年目となります。市といたしましても、市場や関係機関と連携を図り、豪雪地帯の果樹産地ということをアピールするブランド戦略を支援するとともに、この取り組みが消費者の方々の購買意欲をより一層高め、農業者の皆様の所得向上につながっていくことを期待しているところであります。

今年度の農作物に関しては、高単価での取引となったものの、出荷量の減少により、昨年度を下回る販売額となった品目もあることから、地域農業の維持と複合経営の確立に向けた支援が必要と

捉えております。いずれにいたしましても自然災害や農業資材の高騰などの影響により、農業経営にとって厳しい状況が続いておりますので、今後も国や県との連携を図り、農業者の皆様が安心して営農継続できるよう対策を講じてまいります。

### **(3) 雪対策について**

今年度の除雪体制につきましては、例年同様に早期の降雪に備え  
今月1日から出動が可能な体制を整えております。

昨年度は、1月の平均気温が過去最高を記録し、累積降雪量も  
平年の49%と記録的な少なさとなりました。しかしながら、近年  
は気候変動の影響を受け短時間で集中的に大雪が発生する事例が  
増加しており、当市においても異常な降雪量を記録することも多く  
なっていることから、安全・安心な道路交通の確保に向け、  
効率的できめ細かな除雪作業に努めてまいります。

また、第4期横手市総合雪対策基本計画の初年度として、引き続  
き各地域の団体や関係機関等との連携のもと、アクションプログラ  
ムの取り組みを着実に推進し、計画の基本方針である「みんなでつ  
くる 安全・安心な雪国 横手」を目指してまいります。

#### (4)横手市生涯学習館Aonaについて

9月14日に開館いたしました横手市生涯学習館<sup>あおーな</sup>Aonaでは、オープンにあわせ、市内高校華道部による横手市産の花を材料に用いた生け花の展示を行ったほか、ダンスイベントやピアノのミニコンサート、市出身の絵本作家による講演会など、様々なオープニング記念イベントを開催し大いに賑わいました。入館者数は10月末で85,259人、11月12日には10万人に達しております。また、開館から10月末までの期間で横手図書館の貸出冊数は21,939冊、新規登録者数は714名となり、昨年度の横手図書館年間新規登録者数の約3倍となっております。中高生を中心に幅広い年代の方々にご利用いただいております、休日は550席ほどある座席がほぼ満席となっております。当初の計画では、年間の目標来館者数を30万人としておりますが、想定を上回る多くの方にご来館いただいております、横手駅東口の人の流れが変わってきていると感じたところであります。

今後は、クリスマスコンサートや横手のかまくらに合わせたイベントなどの開催を予定しており、引き続き、誰にでも開かれた場所として、いつでも心地よく集える空間を提供するとともに、新たな学びや人、文化と出会える企画や展示などを行い、多くの方々にご利用いただけるよう努めてまいります。

## (5)横手駅周辺整備について

横手駅東口第二地区市街地再開発事業につきましては、10月上旬から旧よこてシャイニーパレスや横手ステーションホテルの解体工事に着手しており、来年春には立体駐車場や賃貸住宅・分譲住宅の新築工事に順次着手する予定とのことであります。

なお、市街地再開発事業とあわせて進めております都市再生整備事業につきましては、横手市生涯学習館<sup>あ お - な</sup>A o - n a 周辺における歩道改良工事が完成しておりますが、引き続き、再開発事業区域周辺の歩道整備と交差点改良を進めてまいります。横手駅東口周辺をご利用される皆様には、完成まで今しばらくご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## (6)大型公共施設整備事業について

横手体育館の整備につきましては、1階の躯体工事を行っているところであり、建設現場近くでは大規模工事が進んでいる状況がいよいよ見えるようになってまいりました。

進捗につきましては、概ね順調に進んでおり、令和8年3月の完成に向け、工事の安全、品質の確保を図りながら引き続き事業を推進してまいります。

また、横手市民会館整備事業につきましては、昨年12月に入札

を中止して以降、設計の見直しや財源の獲得に向けた努力を行ってまいりました。

設計につきましては、ほぼ完成しておりますが、これまで続いていた資材費や労務費の上昇に歯止めがかからず、現体育館の解体工事を含めた総事業費がこれまでの約100億円から約125億円まで大幅に増加する見込みとなりました。

財源につきましては、新たな補助金や有利な地方債の活用を目指してまいりましたが、国の情勢など不透明な要素も重なり、実施年度に確実に確保できると断言できる状況ではなくなりました。

また、総事業費を125億円と想定した場合、資材高騰や賃金上昇による人件費の増加等が今後も長期的に影響することを考えますと、財政的に相当厳しくなるものと判断したところであります。

これら事業費の大幅な増額、将来の財政負担の増などを総合的に判断し、苦渋の決断ではありますが、事業の一時中断を決定いたしました。

新市民会館建設を待ち望まれた市民の皆様、議会の皆様に、計画の一時中断をお伝えしなければならないことは大変残念でなりません。

今後は、国からの支援を活用しつつも、将来の市民会館整備に向けた基金を創設するなど、自主財源をしっかりと確保しながら、

事業着手できる時期を見定めてまいりたいと存じますので、ご理解をお願いいたします。

また、中心市街地活性化基本計画の策定につきましては、現在の計画案に市民会館に関わる記述があるため、今後内容の見直しを行い、来年度の策定を目指す予定としております。

## **(7)公共温泉施設について**

市の公共温泉施設のうち、指定管理者制度の導入を目指す「ゆっふる」「さくら荘」「鶴ヶ池荘」につきましては、複数の民間事業者より施設の利活用方法に関する事業計画等のご提案をいただき、その企画内容や妥当性、実現性等に関しご意見をいただく評価委員会において評価をしていただきました。

市では、評価委員の皆様のご意見等も参考にさせていただきながら、指定管理者制度の導入に向け優先的に交渉する事業者を決定し、現在は、当該事業者と施設経営や収支計画等に関する確認、また、日帰り入浴料等について協議を重ねているところであります。調整が整った後に、議員の皆様、地域の皆様にご説明申し上げたいと考えております。

施設の譲渡を目指しておりました「大森健康温泉」「ゆとりおん大雄」につきましては、先の9月定例会の一般質問においてご説明

申し上げましたとおり、民間事業者からの正式なご応募がございませんでした。

地域の皆様には大変申し訳ございませんが、「大森健康温泉」については老朽化が相当程度進んでいること、また、近隣に公共温泉施設「さくら荘」があることから、施設そのものを今年度末までに廃止させていただきたく準備を進めてまいります。「ゆとりおん大雄」につきましては、温泉入浴サービスの提供は令和7年度末を目途に終了させていただき、地域の活力や元気創出につながるような新たな地域活性化策について、地域の皆様とともに協議を重ねてまいります。

平成30年4月以降、6年以上にわたり民間会社が運営しております「えがおの丘」につきましては、利用者数は増加しているものの営業開始以来、赤字経営が続いていることや施設設備類の老朽化の進行、昨今の物価高による経営コストの高止まりが継続していること等から、運営会社より令和6年11月末をもって市に施設を返還したい旨の申し出がございました。

市においては、これまでの経営状況や施設設備類の老朽化が顕著であること等を踏まえ、この12月1日に市に施設を返還するための具体的な手続きを進めております。

返還後につきましては、ご利用されている皆様には大変申し訳ご

ございませんが休館とさせていただきます。最終的な方向性につきましては、施設の状態を確認した後、速やかに提示いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

### 3. 新たな施策等への取り組みについて

#### (1) 令和7年度予算編成方針について

令和7年度は第2次横手市総合計画後期基本計画並びに第2期横手市総合戦略の最終年となり、これら計画等の総仕上げの年であることを念頭に、本市が抱える地域課題の解決と、将来にわたって持続可能な地域社会の構築を目指し、「みんなの力で 未来を拓く 人と地域が 燦くまち よこて」を将来像として、総合計画に掲げる政策・施策を最後まで着実に推進することとしております。

特に重点的に取り組む事項といたしましては、近年多発する大雨被害や豪雪地帯特有の大雪被害など、常に起こりうる自然災害に強いまちづくりや、身近な生活インフラの老朽化対策など、喫緊の課題に継続的に取り組むことで、市内全域に光が行き届くような予算編成を進めるよう指示したところであります。

来年度の歳入につきましては、市税収入はコロナ禍の落ち込みからの回復が見られ、地方交付税についても国税収入の伸びなどにより増額が見込まれております。

歳出につきましては、新体育館建設や柳田工業団地整備、消防指令センター更新などの大型建設事業の継続実施や、人事院勧告等を踏まえた人件費の増額をはじめ、多額の一般財源を要する事業が見込まれます。このため、財政調整基金をはじめとした各種基金や国・県の施策の活用などにより、必要な財源を確保してまいります。

今年度実施した行政評価結果、施策優先度評価及び市民アンケート結果を踏まえ、事業の優先順位付けと既存事業の見直しをこれまで以上に徹底し、限りある経営資源を選択と集中に基づき最適に配分することで、市民サービス向上につながる効果的な事業展開に努めてまいります。

## **(2) 自然災害への対応状況について**

7月24日から25日に発生した梅雨前線に伴う豪雨によって被災した道路及び河川につきましては、11箇所を国庫負担によって復旧を行う申請をし、10月初旬に行われた国の災害査定により、国庫負担対象額が約1億3千万円と決定しております。そのうち、冬期間の河川の渇水期に工事を実施する3箇所につきましては、11月臨時会において補正予算を承認いただき、12月中には工事に着手する見込みとなっております。その他の8箇所におきましても工事発注に向けた準備を進めているところであります。

次に、農地・農業用施設被害についてであります。国庫補助を活用して復旧を行う農地6件及び農業用施設17件においては、現在、国による災害査定を受けているほか、市単独事業による復旧箇所におきましては、10月15日現在で農地4件、農業用施設14件の申請があり、来年の営農に向け、復旧作業を進めております。

また、林道被害につきましては、林道三ツ森山線など5路線7箇所及び昨年7月の大雨により地すべりが発生した林道萱峠<sup>かやとうげ</sup>線において、国による災害査定が終了し、工事発注に向けた準備を進めております。

いずれにいたしましても、被災箇所につきましては、国・県及び関係機関と連携し、引き続き早期復旧を目指してまいります。

#### 4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

補正額は、16億2,050万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、634億4,150万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

◎ 低所得者生活支援事業 3,903万円

◎ 子どものための教育・保育給付費 1億7,173万円

◎ 地域総合整備資金貸付事業 5億2,000万円

などであります。

## 5. おわりに

今議会に提案しております案件については、同意案件2件、条例案件7件、財産無償譲渡、指定管理者の指定などその他案件10件、令和6年度一般会計補正予算案など補正議案3件の合計22件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、所信説明といたします。

# 行政一般報告編

～ 9月議会定例会以降の行事等について ～

# 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

## 目 次

(1)JR北上線全線開通100周年記念シンポジウム .....	21
(2)旧片野家住宅秋の一般公開 .....	21
(3)第3回マンガ版ビブリオバトル .....	21
(4)よこてfun感謝祭「リトルよこてfunパーティー」.....	22
(5)東京かまくら会総会 .....	22
(6)第100回増田の花火 .....	22
(7)第59回真人公園りんごまつり .....	23
(8)第16回増田「蔵の日」 .....	23
(9)浅舞八幡神社祭典 .....	23
(10)福祉健康まつり .....	24
(11)第23回平鹿りんご味覚まつり .....	24
(12)第50回東京平鹿町会総会 .....	24
(13)大森地域文化祭 .....	25
(14)東京都大田区大森との交流 .....	25
(15)健康の丘おおもりまつり .....	25
(16)三重地区交流センター開館 .....	26
(17)第36回いものこまつりin鶴ヶ池 .....	26
(18)第47回山内文化祭と山内小学校学習発表会 .....	27
(19)第37回さんない古里会総会 .....	27
(20)小学校の木工体験イベント .....	27
(21)第3回横手市児童・生徒木工工作コンクール.....	28
(22)横手盆地発酵交換会 .....	28
(23)第12回横手ものづくりネットワーク会議 .....	28
(24)横手やきそばフェスティバル2024 .....	29

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

(25)横手駅東口まつり2024 .....	29
(26)第56回よこて菊まつり .....	29
(27)よこてfunストア「リトルよこて」 .....	30
(28)Ao-naオープニングセレモニー及びオープニング記念イベント .....	30
(29)芸術鑑賞事業「秋田県青少年劇場」 .....	30
(30)「焼き魚を上手に食べよう！～めざせ！はしづかいの達人～」 .....	31
(31)令和6年度厚木市・横手市小学生交流会 .....	31
(32)第9回よこてシティハーフマラソン .....	31
(33)東北楽天ゴールデンイーグルス野球塾 .....	31
(34)横手市民スポーツ交流大会グラウンド・ゴルフ大会 .....	32
(35)第64回奥羽横断駅伝競走大会 .....	32

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>総務企画部</b> <b>(経営企画課)</b>	<p><b>(1)JR北上線全線開通100周年記念シンポジウム</b></p> <p>JR北上線全線開通100周年記念シンポジウムが10月6日、JA秋田ふるさと本店で開催されました。</p> <p>これは、横手市と岩手県北上市、西和賀町の沿線3市町を主として組織されている「JR北上線利用促進協議会」が、本年11月15日にJR北上線が全線開通100周年を迎えることを記念し実施されたものです。</p> <p>シンポジウムでは、お笑いコンビ「ガレッジセール」のゴリさんをスペシャルゲストに迎え、トンネル内にイルミネーションを施すなど様々な利用促進のアイデアを説明するゴリさんのお話に約200人の参加者が耳を傾けました。</p> <p>市では、今後も沿線3市町で連携し、より一層の北上線の利用促進に取り組んでまいります。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(横手の未来ともにつくる課)</b>	<p><b>(2)旧片野家住宅秋の一般公開</b></p> <p>10月26日、27日の二日間、旧片野家住宅の一般公開を行いました。公開にあわせ、増田高校美術部の作品や愛宕山から出土された「慶長一分金」を展示したほか、26日は市民大学講座や「よこてまちあるき」、27日は県内の人気菓子店等によるマルシェ「庭園小市」を開催し、1,500人の来場者で大いに賑わいました。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(横手の未来ともにつくる課)</b>	<p><b>(3)第3回マンガ版ビブリオバトル</b></p> <p>10月27日横手市生涯学習館Aonaにおいて「第3回マンガ版ビブリオバトル」を開催しました。この取り組みはマンガ文化に触れる機会の創出と、生徒のスピーチ力向上を目的に開催したもので、当日は5人のバトル（発表者）が自分のお気に入りのマンガの魅力や面白さを5分間で熱弁しました。会場に集まった約50人の来場者の投票により、一番読みたくなった「チャンプ本」には「みかづきマーチ」が選ばれました。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p><b>まちづくり推進部 (横手の未来とも につくる課)</b></p>	<p><b>(4)よこてfun感謝祭「リトルよこてfunパーティー」</b></p> <p>11月9日トレジオン・エスパル仙台店において、よこてfun感謝祭「リトルよこてfunパーティー」を開催しました。</p> <p>このイベントは、応援人口との関係性の深化を目的に、“横手市を応援してくださる方へ感謝を伝えるイベント”として実施したものです。</p> <p>仙台市内や宮城県内にお住いの38名の方にご参加いただきました。横手産食材を使用した特別メニューの提供や、横手に関する動画クイズなどを行い、参加者の皆様に大いに楽しんでいただく機会となりました。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (横手地域局)</b></p>	<p><b>(5)東京かまくら会総会</b></p> <p>9月14日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷を会場に「東京かまくら会総会」が開催されました。</p> <p>当日は、会員や来賓、市関係者約100人が出席し、かまくらライドに参加された那珂市長の代理として那珂市市民生活部長のご出席もいただき盛大な会となりました。</p> <p>総会に続くミニコンサートでは美しい歌声とチェロ演奏で会場が感涙し、一転して懇親会では賑やかに再会を喜び合い、故郷の思い出や横手駅前の新たな姿について語り合う姿が見られました。また、会場内に設置された「物産販売コーナー」では、出席者が品定めしながら懐かしい味を買い求めていました。</p> <p>最後は、会場一体となって「青い山脈」を合唱し、来年の再会を誓い合いました。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b></p>	<p><b>(6)第100回増田の花火</b></p> <p>9月14日、県内随一の開催数を誇り、大正時代から引き継がれてきた「増田の花火」が、一般社団法人増田町観光協会の主催で開催されました。</p> <p>当日は天候にも恵まれ、100回目の打ち上げに感極まり涙する人々たちも見られ、県内外から訪れた約50,000人の観衆が花火に魅了されました。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(7)第59回真人公園りんごまつり</b></p> <p>10月13日、「第59回真人公園りんごまつり」が、一般社団法人増田町観光協会の主催で開催されました。</p> <p>メインイベントのミスりんごコンテストでは、3名が、「第59代ミスりんご」に選ばれました。</p> <p>会場には約600人が来場し、リンゴの唄コンクールやりんご皮むき競争、りんごウルトラクイズなど多彩なイベントが行われたほか、旬のりんごの即売会等も開催されました。</p>
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(8)第16回増田「蔵の日」</b></p> <p>10月6日、16回目となる増田「蔵の日」が開催されました。</p> <p>本年は天候にも恵まれ、県内外から訪れた大勢の来場者で賑わいました。</p> <p>25棟の建物の公開に加え、福嶋サイサイ囃子の練り歩きや増田の盆踊り、梵天の披露等で盛り上がりました。</p> <p>また、来場者に域内を散策しながらもっと増田を知ってもらえるよう、地域住民参加型の経済活性化イベント「蔵の日プラス」を昨年度に引き続き実施し、地域一体となって来場者をおもてなしました。</p>
<b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b>	<p><b>(9)浅舞八幡神社祭典</b></p> <p>9月14日、15日の二日間にわたり浅舞八幡神社祭典が開催されました。14日の宵祭りには、旧平鹿地域局前の目抜き通りに、勇壮な武者人形を築山に配し、絢爛豪華に飾られた「飾り山車」6台が集結し、笛や太鼓のお囃子と山車の競演に、訪れた約2,600人の来場者は大いに賑わいを見せておりました。</p> <p>また、旧平鹿地域局前の手作り屋台村では、地元商店や街商が出店し祭りを盛り上げ、フィナーレには約800発の色鮮やかな花火が秋の伝統行事に花を添えました。</p> <p>今後も、各町内と連携を取りながら地域に誇れる祭りとして伝承に努めてまいります。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部</b> <b>(平鹿地域局)</b>	<p><b>(10)福祉健康まつり</b></p> <p>10月22日、ゆとり館において「福祉健康まつり」を開催しました。この催しは、地域住民の福祉、健康に対する意識の向上を図ることを目的として毎年開催しているもので、当日は約200人の来館者で賑わいました。</p> <p>会場では、保健師による健康チェックや健康相談、栄養士と横手市食生活改善推進員の協力による健康料理の試食やレシピ紹介のほか、結核予防婦人会による結核予防の啓発活動を行い、来館者自身やご家族の健康について、より関心を高めてもらう機会となりました。</p> <p>そのほか、浴場の無料開放や民謡・演歌歌謡ショーが行われ、多くの方々に楽しんでいただきました。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(平鹿地域局)</b>	<p><b>(11)第23回平鹿りんご味覚まつり</b></p> <p>11月3日、「第23回平鹿りんご味覚まつり」がときめき交流センターゆっふる駐車場を会場に開催されました。</p> <p>このイベントは平鹿りんごを県内外にPRし、産直による消費拡大を図るために、関係自治会、JA秋田ふるさと、県平鹿地域振興局の協力により開催しております。</p> <p>季節の果物を主とした農産物直売とりんごのもぎ取り体験を行い、多くの来場者に平鹿りんごの魅力をたっぷり味わっていただきました。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(平鹿地域局)</b>	<p><b>(12)第50回東京平鹿町会総会</b></p> <p>11月10日、東京都墨田区「東武ホテルレバント東京」において、第50回東京平鹿町会総会並びに交流会が開催されました。今回は東京平鹿町会結成50年を記念して、地元から「鍋倉囃子保存会」の皆さんが駆けつけ、お囃子で会を盛り上げました。出席した来賓・会員94名は、地酒や懐かしいふるさとの味を堪能しながら、地場産品が当たる抽選や歌などの余興で、交流を深めました。</p> <p>会場内に設置された「ふるさと物産コーナー」では地酒、漬物、昆布、豆腐カステラなどが販売され、故郷の懐かしい品々を会員がたくさん買い求めておりました。</p> <p>引き続き東京平鹿町会と連携を図り、より一層地域が元気になるよう交流を深めてまいります。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p><b>まちづくり推進部</b> <b>(大森地域局)</b></p>	<p><b>(13)大森地域文化祭</b></p> <p>10月13日から20日までの8日間、大森地区交流センターを会場に大森地域文化祭が開催されました。</p> <p>会場には、市民の力作の押絵や短歌、パッチワークなどの作品137点のほか、大森小学校や横手明峰中学校の児童生徒の作品や絵画190点が展示され、来場者は表現豊かな数々の作品に見入っていました。</p> <p>期間中には、大森町芸術文化協会主催の「芸能発表会」が行われ、5団体30名のほか一般の方2名の出演者がステージ上での熱のこもった唄や踊りに、来場者から惜しみない拍手が送られていました。</p>
<p><b>まちづくり推進部</b> <b>(大森地域局)</b></p>	<p><b>(14)東京都大田区大森との交流</b></p> <p>11月2日、3日の二日間、東京都大田区ふるさとの浜辺公園にて「OTA ふれあいフェスタ2024」が開催され、安全で安心な「秋田・大森産農産物」をPRするとともに、大森町共栄会事務局と交流を深めてまいりました。</p> <p>販売会では、新鮮な野菜や新米などを買い求める方で賑わい、販売開始前から行列ができる盛況ぶりでした。</p>
<p><b>まちづくり推進部</b> <b>(大森地域局)</b></p>	<p><b>(15)健康の丘おおもりまつり</b></p> <p>10月26日に高齢者等保健福祉センター、秋田県南部老人福祉総合エリア、市立大森病院を会場に、健康の丘おおもりまつりが開催されました。この催しは、地域包括ケアの拠点である健康の丘おおもりを構成する施設を中心に、地域住民と健康について学びながら、楽しい時間を過ごしていただくことを目的に開催しています。</p> <p>大森病院長の健康講演や、秋田県住みます芸人の「きり亭たん方」氏による笑い運動教室、秋田県出身で元しまじろうコンサートの歌のおねえさん「たつたはるみ」氏によるファミリーステージなどにより、子どもからお年寄りまで多くの方々に楽しんでいただきました。</p> <p>また、健康・栄養相談や、食生活改善推進協議会による健康料理試食、結核予防婦人会による啓発活動などが行われ、ご自身やご家族の健康について、より関心を高めていただく機会となりました。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (十文字地域局)</b>	<p><b>(16)三重地区交流センター開館</b></p> <p>10月1日、三重地区交流センター開館式を、ご来賓、関係者など約40人のご列席のもと、開催しました。</p> <p>当施設は、令和3年3月に閉校した旧十文字第二小学校を改修し、三重地区交流センター、旧十文字文化センター体育館、十文字卓球場を統合し、健康の駅よこて南部トレーニングセンターの機能を移転したものです。また、よこて市商工会と秋田県商工連合会南部拠点、十文字町建設連合組合にも入居いただき、官民複合施設として新たな歴史がスタートしました。</p> <p>今後は、小学校の趣を残しつつ、多様な機能を備えたこの場所に、多くの皆様が訪れ、様々な出会いや交流が生まれる地域の拠点となるよう、利用促進に努めてまいります。</p>
<b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b>	<p><b>(17)第36回いものこまつりin鶴ヶ池</b></p> <p>9月22日、山内地域の活性化と産業振興を図るため、「第36回いものこまつりin鶴ヶ池」が鶴ヶ池公園ふれあい広場を会場に開催され、時折強めの雨に見舞われるあいにくの空模様でしたが、県内外から約6,000人の来場者で賑わいました。</p> <p>当日は、「いものこ」をはじめとした特産品の販売や、名物の「いものこ汁」など、山内の秋の味覚を思う存分堪能いただけました。</p> <p>来場者数は昨年より少なかったものの、全国いものこピラミッド競技大会には、市内外から13組が出場し熱戦が繰り広げられたほか、市内4団体によるよさこい演舞をはじめ地元芸術文化協会の歌や踊り、ものまねタレントによるステージショーが行われるなど、多彩なイベントが会場を盛り上げました。今回はイベントスタッフのボランティアとして横手南中学校の生徒9名が参加し、魚のつかみ取り、全国いものこピラミッド競技大会、総合案内の裏方として活躍していただきました。</p> <p>イベント締めくくりの花火ショーでは、鶴ヶ池の水面を彩る迫力満点の水中花火、スターマインなど約2,300発の花火を楽しんでいただきました。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b>	<p><b>(18)第47回山内文化祭と山内小学校学習発表会</b></p> <p>10月26日から28日まで、山内小学校を会場に「第47回山内文化祭」が開催されました。今回はコミュニティ・スクールの一環として、山内小学校学習発表会との合同で開催し、483名に会場いただきました。</p> <p>山内小学校の学習発表会を皮切りに文化祭芸能発表が開催され、児童82名、一般から5団体15名が日頃の成果を披露し、会場に詰めかけた観客から盛大な拍手が送られていました。「豊かなる山河」(山内村民歌)の合唱の際には、全員の歌声により会場は大きな一体感に包まれました。</p> <p>展示部門においても山内小学校の校舎内を会場とし、園児・児童から289点、一般から191点の合計480点の作品が出展され、例年と違う雰囲気の中、学校と地域住民や保護者が連携・協働し、初の合同開催は成功裏に終わりました。</p>
<b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b>	<p><b>(19)第37回さんない古里会総会</b></p> <p>11月4日、「第37回さんない古里会総会」が東京都「上野精養軒」で開催され、82名が参加しました。</p> <p>参加者は久しぶりの再会とあって、故郷山内の思い出や近況などについて大いに語り合っていました。また、会場内では、地域の特産品や県内の名産品等を販売する「ふるさと物産展」も開催され、大変好評でした。</p> <p>総会には、山内区長会のほかいものこまつり実行委員会会長など、横手市から11名が参加し、会員の皆様との交流を深めました。また、懇親会のアトラクションでは役員の余興や民謡などが披露され、会場は大いに盛り上がりました。</p>
<b>農林部 (農林整備課)</b>	<p><b>(20)小学校の木工体験イベント</b></p> <p>子どもたちが木に触れ、森林に興味を持ってもらうことを目的に、10月5日、株式会社ウッディさんないを会場に、市内の小学3年生から6年生を対象とした木工体験を開催しました。</p> <p>このイベントは森林環境譲与税を活用して令和3年度から開催しており、4回目となる本年は児童60名とその保護者が参加しました。はじめに「森林の働き<sup>もり</sup>について」の話を聞いた後、釘やビスを使って組み立てる小物入れ作りなどを体験し、森林の役割について理解を深めました。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>農林部</b> <b>(農林整備課)</b>	<p><b>(21)第3回横手市児童・生徒木工工作コンクール</b></p> <p>毎年、県並びに全国コンクールが開催されている「児童・生徒木工工作コンクール」について、木の温もりや物作りの喜びを感じ、子どもたちの可能性や創造力を引き出すことを目的に、3回目となる市のコンクールを開催しました。市内の小・中学生を対象に、10月4日まで作品を募集したところ、23点の応募をいただきました。最終審査会において入選作品7点を選出し、秋田県コンクールに推薦するとともに、横手市児童生徒美術展に展示し、入賞作品の表彰式を12月26日に行う予定としています。</p>
<b>農林部</b> <b>(食農推進課)</b>	<p><b>(22)横手盆地発酵交換会</b></p> <p>10月8日から14日までの7日間、横手駅東口周辺エリアにおいて「横手盆地発酵交換会」を開催しました。当イベントは、横手盆地内に共通する発酵食文化の魅力を発信するとともに、Ao-naの開館による横手駅前での賑わい創出を目的に、実行委員会との共催により開催したものです。</p> <p>会期中、Ao-naでは、横手盆地内の酒蔵の銘柄や酒造りへのこだわり、発酵食品の健康効果などをパネルで紹介したほか、12、13日の両日は、Y<sup>2</sup>ふらざ等において、日本酒の試飲販売や発酵食品の物産展、飲食販売などを行いました。なお、物販関係には、横手市内のみならず、仙北及び雄勝エリアの事業者からも出展していただきました。</p> <p>イベント期間中は好天に恵まれ、会場を訪れた約1万人の皆様にごうじ文化が栄えた横手盆地内の発酵食の魅力を感じ取っていただきました。</p>
<b>商工観光部</b> <b>(企業誘致課)</b>	<p><b>(23)第12回横手ものづくりネットワーク会議</b></p> <p>11月1日、市内企業の本社、親会社、取引先等を対象に、東京都千代田区の「アルカディア市ヶ谷」において第12回横手ものづくりネットワーク会議を開催しました。</p> <p>当日は50企業、4団体から84名の参加があり、市長による当市のプレゼンテーション、東北学院大学経営学部教授による講演のほか、横手市産業振興アドバイザー佐藤登氏や横手市企業支援アドバイザー松井康氏を交えたディスカッションが行われました。その後ビュッフェ形式による交流会を開催し、当市のものづくりの中核を担う皆様と地域産業活性化に向けた情報交換を行いました。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<p><b>商工観光部</b> (観光おもてなし課)</p>	<p><b>(24)横手やきそばフェスティバル2024</b></p> <p>9月28日、29日の二日間、横手やきそばの食文化を未来へ継承するため、秋田ふるさと村を会場に参加型イベント「横手やきそばフェスティバル2024」が昨年に引き続き開催され、1万人を超える方に来場いただきました。</p> <p>当日は、秋田大学生、平成高校生の約70人にボランティアとして参加・協力いただき、歴代四天王店による横手やきそばの食べ比べや一般公募により集まった「横手やきそばのアレンジレシピ」の販売、やきそば作り体験などが実施され、横手やきそばを丸ごと楽しめる二日間となりました。</p>
<p><b>商工観光部</b> (観光おもてなし課)</p>	<p><b>(25)横手駅東口まつり2024</b></p> <p>10月5日、6日の二日間、横手駅東口を本会場に、新たにオープンしたJAビルと横手市生涯学習館Aonaの両施設も活用した「東口まつり2024」が開催され、約12,000人に来場いただきました。</p> <p>ステージイベントでは、ダンスや民謡、お笑いショーなど、幅広い層のお客様にお楽しみいただいたほか、物産・飲食コーナーにおいては、北上線沿線自治体の出展者が揃い、新米のおにぎり試食や横手産の野菜や加工品の販売ブースなども行列ができる人気でした。</p> <p>また、本年はJR北上線が全線開通100周年を迎えることから、JR北上線の利用促進を横手駅とともに展開し、鉄道ファンにも満足いただけた二日間となりました。</p>
<p><b>商工観光部</b> (観光おもてなし課)</p>	<p><b>(26)第56回よこて菊まつり</b></p> <p>第56回よこて菊まつりが10月31日から11月11日までの12日間の日程で、秋田ふるさと村を会場に開催され、約58,000人に来場いただきました。</p> <p>会場内では約1500鉢の菊花が展示されたほか、「全国各地の武将隊が参加しての武将隊フェスティバル」「横手市民謡連合会による民謡披露」「秋田まるごと食の祭典2024」等が行われ、来場者を魅了しました。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>商工観光部</b> <b>(観光おもてなし課)</b>	<p><b>(27)よこてfunストア「リトルよこて」</b></p> <p>10月1日から6日までの6日間、東京都葛飾区 新小岩ルミエール商店街を会場に、また、11月8日から10日までの三日間、仙台駅の東西自由通路において、よこての魅力を発信する物産展「リトルよこて」を開催しました。</p> <p>開催期間中は、横手の旬の食材や食文化にちなんだ商品をはじめ、横手を感じられる会場装飾、秋田弁の会話などにより、訪れていたいただいたふるさと会の会員など多くの皆さまに横手の魅力を存分に感じていただくことができました。</p> <p>開催にあたり、よこてfun通信を通じて募集したボランティア34名の方々から運営にご協力いただいたほか、読者同士の交流を深めることもできました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b> <b>(図書館課)</b>	<p><b>(28)Ao-naオープニングセレモニー及びオープニング記念イベント</b></p> <p>横手市生涯学習館Ao-naが9月14日にオープンし、セレモニーではAo-naのモニュメントの除幕や高校吹奏楽部による演奏などを行いました。また、9月23日まで開催したオープニング記念イベントでは、市長や市内高校生などが「開館記念パネルディスカッション」でAo-naの魅力と可能性について意見交換を行ったほか、蔵書点検ロボット開発者による記念講演会や市内朗読団体と高校放送部による朗読会、施設見学ツアーなど様々なイベントを行い、オープニング記念イベント期間中は21,348人が来館しました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(29)芸術鑑賞事業「秋田県青少年劇場」</b></p> <p>9月30日、横手市民会館を会場に人形劇団ポポロによる公演「ルドルフとイッパイアッテナ」を浅舞小ほか3小学校の児童や教職員633名が鑑賞しました。</p> <p>この事業は、青少年が優れた舞台芸術の鑑賞することで豊かな情操のかん養を図るとともに健全な成長に資することを目的に開催しています。</p> <p>参加した子どもたちは、人形劇の世界に入り込みセリフや動作に笑ったり、心のこもった拍手を送ったりする姿が印象的でした。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(30)「焼き魚を上手に食べよう！～めざせ！はしづかいの達人～」</b></p> <p>10月20日、横手市家庭教育支援チーム「どんぐりすのもり」との共催により「焼き魚を上手に食べよう！～めざせ！はしづかいの達人～」を境町地区交流センターで開催し、市内小学生とその保護者14組が参加しました。</p> <p>当日は、普段使っている箸を持参し、実際に焼き魚を食べながら、箸使いや食事のマナーを学びました。その後、参加者同士が普段の子育てに関する悩みや、子どもの行動で気になっていることなどを共有し交流を深めました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(31)令和6年度厚木市・横手市小学生交流会</b></p> <p>11月2日から4日までの間、神奈川県厚木市へ横手市の小学生やジュニア・リーダーなど31名が訪問しました。</p> <p>この事業は、友好都市である厚木市と横手市の小学生がお互いの市を隔年で訪問し、体験活動を通じながら交流し友好を深めることを目的に開催しており、令和元年以来、5年ぶりの訪問となりました。</p> <p>参加した子どもたちは、厚木市の小学生とすぐに仲良くなり、両市のジュニア・リーダー企画による交流会や神奈川工科大学の大学祭などを楽しみながら交流を深めていました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<p><b>(32)第9回よこてシティハーフマラソン</b></p> <p>9月29日、箱根駅伝において「二代目・山の神」と称された柏原竜二さん(東洋大学出身)をゲストランナーにお迎えし、第9回よこてシティハーフマラソンが開催されました。今回は、県内外から過去最高となる1,650名のエントリーがあり、さわやかな秋晴れのもと、参加ランナーの皆様は沿道からの応援を背に受けながら、稲刈り最盛期の横手を駆け抜けました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<p><b>(33)東北楽天ゴールデンイーグルス野球塾</b></p> <p>10月14日、楽天イーグルススタジアム大雄を会場に、野球塾が開催されました。</p> <p>これは、2014年に市と株式会社楽天野球団が締結した「フィールドサポート・プログラム」という野球を通じた地域密着活動の一環で、市内のスポーツ少年団員・約90人が、元プロ野球選手を含むアカデミーコーチ2名から指導を受けました。</p>

## 令和6年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<b>(34)横手市民スポーツ交流大会グラウンド・ゴルフ大会</b> 10月22日、赤坂総合公園グラウンド・ゴルフ場を会場に、横手市スポーツ推進委員会主催によるグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。スポーツを通じた健康づくりを目的としたこの大会には約90人の市民が参加し、体を動かしながら交流を図りました。
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<b>(35)第64回奥羽横断駅伝競走大会</b> 10月25日から27日にわたって「第64回奥羽横断駅伝競走大会」が開催されました。今回は、由利本荘市役所前をスタートし、国道107号線を主たるコースとする横手市、西和賀町役場湯田庁舎までの12.3km、全12区間で健脚を競いました。県対抗、一般、高校の部の計22チームが参加し、秋の奥羽路に襷をつなぎました。